

平成29年度病院情報の公表集計

1. 年齢階級別退院患者数_H290401～H300331

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	33	121	105	137	159	152	309	398	349	103

平成29年度の退院患者数は1,866名であり、60歳以上が約6割（1,159名）と多くなっています。

2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）_H290401～H300331

【整形外科】

DPCコード	名称	患者数	自院の 平均在院日数	転院率(%)	平均年齢
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折	123	41.82	43.09	83.44
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰椎損傷を含む。）	97	29.68	23.71	79.43
160760xx97xx0x	前腕の骨折	87	10.01	0	52.3
160620xx01xxxx	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）	85	18.04	0	36.67
160700xx97xx0x	鎖骨骨折、肩甲骨骨折	69	7.90	0	38.62

当院は整形外科の2次救急を行っていることから、外傷疾患入院が6割を占めています。

中でも高齢者の大腿骨近位部骨折の症例が最も多く、続いて、胸・腰椎損傷を含む胸椎、腰椎以下骨折損傷の症例です。

当院の在院日数は、生活機能改善に向けて入院リハビリを充実させるため、回復期リハビリ病棟及び地域包括ケア病床での入院期間も含まれております。

高齢者による転倒症例が多く、合併症による内科的治療を要する場合や在宅復帰を目的とした長期リハビリ後方病院への転院率が高くなっています。

3. 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数_H290401～H300331

該当ありません。

4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等_H290401～H300331

該当ありません。

5. 脳梗塞のICD10別患者数等_H290401～H300331

該当ありません。

6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）_H290401～H300331

【整形外科】

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
K0821	人工関節置換術（肩・股・膝）	153	2.31	43.96	3.27	71.95
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨・上腕・大腿）	147	2.66	36.33	28.57	75.17
K0483	骨内異物（挿入物）除去術（前腕・下腿）＜挿入物＞	117	1	4.68	0	44.89
K1423	脊椎固定術3.後方椎体固定（胸・腰椎）	96	2.56	29.68	2.08	66.22
K0462	骨折観血的手術（前腕・下腿・舟状骨）	91	2.36	27.05	4.4	55.86

大腿骨近位部骨折は、プレート固定による観血的手術のほかに、適応によって人工骨頭挿入術や人工股関節置換術を行います。

人工股関節置換術は、CTナビゲーションシステムの導入により、術後の動作制限なく早期社会復帰が可能となり、手術件数は平成28年度より2倍に増加しました。

人工関節置換術は、変形性関節症や関節リウマチに適応する場合があります。

脊椎固定術は、主に腰椎変性すべり症/分離すべり症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなどに適応し、

神経を圧迫している部分を切除した後、患者さん自身の骨（移植骨）や人工骨を挿入して固定します。

7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）_H290401～H300331

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率(%)
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0
		異なる	0	0
180010	敗血症	同一	0	0
		異なる	0	0
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0
		異なる	0	0
180040	手術・処置等の合併症	同一	16	0.88
		異なる	1	0.05

平成29年度 播種性血管内凝固症候群、敗血症、その他の真菌感染症の発生は0%でした。

手術・処置等の合併症は、16例 請求率 0.88% で、主な症例は術後創部からの感染症でした。